

令和5（2023）年度

# 片品村教育要覧

The Katashina-Mura Educational Handbook



## 千葉県銚子市立明神小学校との第58回夏季交歓会

新型コロナウイルス感染症の影響で4年ぶりに開催された。今回は各家庭への交歓分宿ではなく、宿泊施設での交流に変更された。

### 【交歓会の目的】

環境の異なった地域との交流体験をとおして、豊かな人間性や社会性を育み、交歓分宿により海辺の生活と山村の生活との違いを認識しあい、互いに理解と友情を深め合う。

片品村教育委員会

## 目 次

片品村教育長のことば	1
片品村教育行政方針	2
群馬県教育委員会運営方針	4
<b>■学校経営方針</b>	
片品村立片品小学校	8
片品村立片品中学校	13
かたしな子ども学校	17
管内小中学校児童・生徒	19
管内保育所の様子・就学前幼児数	
片品村学校給食センター運営方針	20
片品村社会体育事業計画	22
<b>■施設・団体等</b>	
社会教育・体育施設	24
社会教育関係団体	24
学習グループ	24
指定文化財一覧	25
各団体等名簿	28
片品村一般会計歳出予算	32

## 片品村教育要覧の作成にあたって

片品村教育委員会教育長 萩原 明 富

片品村文化センター駐車場に隣接した場所に、「復興」の石碑が建立されています。

この碑には、昭和23年1月30日、片品中学校木造校舎が全焼、空しき灰燼の山を前に人々は茫然とした。翌31日議会が招集され「即時復興に着手すべき」との決議が成立。時は敗戦後の混乱期であり農村経済は危機に瀕し資材不足は極点に達していた。総工費710万円の内、410万円は村民の寄附によるものであった。昭和23年11月木造校舎2階建て2棟が完成。復興にあたり全村民が身を以て垂範した教育尊重の精神は生徒6百人の純真な魂に点火して烈々たる自覚と奮起の念を燃え立たせ、やがて伝統の校風となって永く後進を鞭撻する。片品中学校は新築の校舎を得たばかりでなく貴重なる教訓を贈られた。教育のことは一日も遅らせるべきでない、愛する子弟に教育を与えよ。という内容が刻まれています。石碑は教訓を、風化させない重要な証として建立され、村民の教育への強い思いが、今も脈々と引き継がれています。

さて、長引く国際紛争など不安定な経済状況が続き、物価高騰が村民生活に大きな影響を及ぼす中、今年度から学校給食の保護者負担軽減に対する取組及びさらなる子育て支援の充実を図るため、全児童生徒を対象とし給食費の無償化を決めました。また、児童生徒の英語力、漢字能力、数学能力及び学習意欲の向上を図ることを目的に、3検定を受験する児童生徒の保護者に対し、英語・漢字・数学検定料補助金制度を新設しましたので、多くの児童生徒に活用していただければ幸いです。

国が進めたGIGAスクール構想も今年で実質3年目となり、小学校・中学校ともに一人一台端末の環境を生かし授業での有効的な活用方法や、タブレットを毎日家庭に持ち帰ることで個に応じた探求的な学びを高め、電子黒板や電子教科書などICTの活用で個の学力向上を引き続き進めるとともに、4年間実施できなかった台湾の中学生海外交流事業では、海外の同世代の生徒との交流を通して国際社会への理解と識見を高められるような事業としていくなど、コロナ禍以前の様々な取り組みも児童生徒が問題解決能力、創造性、困難に立ち向かう精神的な強さが養われるようなものとしていきます。

社会教育では、従来行っていた区対抗競技を実施することはできませんが、昨年同様、多くの村民の方が参加し楽しめるスポーツイベントを開催したいと考えておりますので片品村教育行政全般について、これまで以上の御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

令和5年8月

## 令和5年度 片品村教育行政方針

### － 楽しく学び 明るく鍛えあい 豊かな心を育む 片品教育 －

#### I 基本理念

片品村は、「生きる力」を育むため、目指す教育の姿として今までの基本理念である「楽しく学び・明るく鍛えあい・豊かな心を育む 片品教育」を掲げました。

- ・物事を理解する手段を獲得するために、「知ることを学ぶ」こと
- ・自己が置かれた環境の中で創造的に行動するために、「為すことを学ぶ」こと
- ・社会の営みに参画し協力するために、「(他者と)共に生きることを学ぶ」こと
- ・この三つの学びから導き出される、「人間として生きることを学ぶ」こと

#### II 基本施策

基本理念の実現を目指して「かたしなの教育」では、次の基本施策を定めました。

- 1) 「安心・安全に学べる環境」をつくること
- 2) 「確かな学力」を身に付けること
- 3) 「豊かな心」を育てること
- 4) 「健やかな体」をつくること
- 5) 「ふるさと片品を愛する心」を育てること
- 6) 「人のつながりを大切にした学びあい」を進めること

#### III 取組の柱

- 1) 「安心・安全に学べる環境」をつくる

(1) 心穏やかに学べる環境をつくる

- ①保・小・中の一貫性のある教育を実現する
- ②個に応じた教育的支援を実施する

(2) 人と環境にやさしい学校をつくる

①子どもたちの安全を確保する

## 2) 「確かな学力」を身に付ける

(1) 基礎・基本を身に付ける

①質の高い学習指導を推進する

②学校力の向上を推進する

(2) 学ぶ意欲を高める

①読書環境を豊かにする

②地域と連携した学校づくりを推進する

## 3) 「豊かな心」を育てる

(1) 豊かな人間性を養う

①道徳教育を推進する

②人権教育を推進する

(2) 学校と家庭・地域が協力して取り組む

①家庭教育を支援する

②豊かな体験活動の充実を図る

## 4) 「健やかな体」をつくる

(1) 健康な体をつくる

①健康・体力づくりを推進する

②地域の特長を活かした食育を推進する

(2) スポーツを振興する

①スポーツへの関心を高め活動を推進する

②公共体育施設の有効利用を図る

## 5) 「ふるさと片品を愛する心」を育てる

①地域の伝統と文化の価値を再発見し継承する

②豊かな自然を活かした環境教育を推進する

## 6) 「人のつながりを大切にしたい学びあい」を進める

①子どもたちの居場所づくりの充実を図る

②文化・芸術活動を推進する

③生涯学習を推進する

# 令和5年度 群馬県教育委員会運営方針

## 1 基本方針

新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中、教育も「ニューノーマル（新常态）」への転換が急務となっています。このような予測困難な時代を生きる子どもたちには、答えが一つに定まらない中で課題を発見し、解決に向けて自ら考え、多様な人々と協働する力や新たな価値を生み出す力、多様性を認め、自他を大切にする心などを、発達段階に応じて身に付けていくことが必要です。

群馬県では、第3期群馬県教育振興基本計画及び第2期群馬県教育大綱に基づき、基本目標である「たくましく生きる力をはぐくむ～自らの可能性を高め、互いに認め合い、共に支え合う～」の実現に向けた取組を進めています。

令和5年度もこれらを踏まえ、ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指す「教育イノベーション」を推進するなど、次の8つの基本施策に沿った取組を展開します。

## 2 8つの基本施策

### (1) 時代を切り拓く力の育成

- ・ 自分の頭で未来を考え、予測困難な時代を生き抜く力を育成するため、学力のような数値化できる力（認知能力）のみならず、非認知能力の育成に向けて、調査・研究を進めます。
- ・ 探究的な学びを充実させ、社会課題が複雑化・多様化する現代において、自ら課題を見つけ、多角的に物事を捉え、課題を解決する力を育成します。
- ・ 教科等横断的・継続的にキャリア教育を推進し、社会的・職業的自立に必要な能力を育成します。
- ・ 主権者教育の充実を図り、社会の形成に参画するために必要な資質・能力を育成するなど、子どもたちの社会的自立に向けた取組を推進します。
- ・ 郷土に愛着を持つとともに、自国の歴史や文化についての理解を深めた上で、積極的に異文化を理解し尊重する態度を身に付けたグローバル人材を育成します。

### (2) 確かな学力の育成

- ・ ICTを活用した教育イノベーションを推進し、個別最適な学びと協働的な学びを通して、子どもたちの可能性を高めます。
- ・ 1人1台端末を最大限活用し、対面指導とオンライン教育のハイブリッド化を実現するとともに、少人数学級編制や小学校における教科担任制の推進等により、一人一人に応じた指導を行い、学びの質の向上を図ります。
- ・ 主体的・対話的で深い学びを通して、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力等を育成しながら、学びに向かう力、人間性等を涵養します。
- ・ STEAM教育を全県で推進し、各教科での学びを総合的・横断的に働かせて、現代社会や地域の課題解決や新たな価値の創造につながる力を育成します。
- ・ 児童生徒がICTリテラシーを身に付け、情報を適切に活用・発信できるよう、発達段階に応じた情報活用能力を育成します。

### (3) 豊かな人間性の育成

- ・ 学校教育全体を通して、多様性を認め自他を大切にする心や、自己肯定感及び自己有用感を育み、社会性や規範意識を高めるなど、健やかな心の育成を図ります。
- ・ 学校・家庭・地域が連携し、ネットを介したいじめを含むすべてのいじめ防止に努め、良好な人間関係を築く力を育成します。
- ・ 不登校児童生徒等の支援に取り組む関係機関などとの連携を図りながら、不登校等の状態にある子どもたちが自らの学び場や居場所の中で社会とつながる力を育むことができるよう、支援を行います。
- ・ 体験学習等を通じて本物の文化芸術や自然に触れることにより、豊かな感性を育成します。

### (4) 健やかな体の育成

- ・ 群馬の未来を担う明るく元気な児童生徒を育むため、体力向上に向けた取組を推進します。
- ・ 健康教育・食育を推進し、児童生徒の心身の健康を保持増進します。

### (5) 信頼される学校づくり

- ・ 各学校の特性を活かした質の高い教育を推進し、保護者や地域社会との信頼関係を深めます。
- ・ 児童生徒の多様性を認め、様々な問題を抱える子どもたちに寄り添った教育を、関係機関などと連携しながら、発達段階に応じて行います。
- ・ 障害のある子とない子の交流及び共同学習を推進するとともに、各学校における特別の支援を必要とする児童生徒への指導を充実します。
- ・ 学校業務を「廃止・縮小・ICT化」の観点から見直す取組等を推進し、教職員の多忙化解消を目指します。
- ・ 教職員のワーク・ライフ・バランスを実現することで、教職員が子どもと向き合う時間や時代に即した新しい教育について考える時間を確保し、子どもたちに豊かな学びを届けるとともに、教職の魅力向上を図ります。

### (6) 安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成

- ・ 感染症の正しい理解に基づいた「新しい生活様式」を踏まえ、児童生徒が安全に学べる環境を整備します。
- ・ 学校の施設整備や防災・防犯、交通安全対策等の推進により、安全・安心な教育環境を確保します。
- ・ 就（修）学や多様な教育機会確保のための一層の支援及び外国人児童生徒の教育の充実を図ります。
- ・ 災害や交通事故等から自分自身や周りの人を守る力を育成します。

### (7) 家庭の教育力向上と学校・地域の連携・協働の推進

- ・ 質の高い就学前の教育・保育の提供を推進するとともに、子どもの学びの連続性を保証するための幼児教育施設と小学校との連携・接続を推進します。
- ・ 市町村や民間団体と連携して家庭教育を支援します。
- ・ 地域と連携・協働し、学校を核とした地域づくりを推進します。
- ・ 休日部活動の地域移行に向けて、地域の関係機関などとの協議・調整を進めます。

### (8) 生涯学習社会の構築

- ・ 学校・家庭・地域・NPOなどの連携・協力体制を構築し、社会教育や生涯にわたる多様な学びを推進します。

令和5年度 群馬県教育委員会施策体系及び主要事業

目標	施策	主要事業	予算額	担当所属		
たくましく生きる力をはぐくむく自らの可能性を高め、互いに認め合い、共に支え合う	(1)	時代に合ったキャリア教育の充実	キャリア教育推進(研修)、群馬県キャリア教育推進、進路指導推進事業 等	329千円	総合教育センター、義務教育課、高校教育課、特別支援教育課	
		実践的な職業教育の推進	Gワークチャレンジ・高校生インターンシップ推進、次代を担う職業人材育成、次代を担う職業人材育成のための教育設備充実、社会人講師活用	561,670千円	管理課、高校教育課	
		特別の支援を必要とする生徒への就労支援の充実	特別支援学校職業自立推進、新時代の特別支援学校作業学習充実	23,086千円	特別支援教育課	
		文化芸術や尾瀬等の郷土資源を活用した学びの推進	群馬県高等学校総合文化祭、自然・歴史・文化遺産研修	1,240千円	総合教育センター、高校教育課	
		国際理解教育	高校生国際交流促進	3,799千円	高校教育課	
		豊かな語学力の育成	外国語指導助手支援員、外国語指導助手招致	122,561千円	義務教育課、高校教育課	
		非認知能力の育成	非認知スキル評価・育成	14,000千円	総務課	
	(2)	確かな学力の育成	身に付けた知識・技能を活用し課題解決を図る力の育成	ニューノーマルGUNMA CLASS PJ(少人数学級編制)、COREハイスクール・ネットワーク構想 等	947,525千円	管理課、学校人事課、高校教育課
			学習習慣・生活習慣の確立 教育イノベーションの推進(ICT教育、STEAM教育、理数教育、プログラミング教育 等)	教育イノベーションプロジェクト(教育イノベーション推進体制構築(学びのデータ連携等)、教育DX推進センター運営、ICT活用スキル育成PJ、STEAM教育推進PJ、県立高校ICT教育加速(プログラミングソフトウェア導入等))、科学の甲子園ジュニア群馬県大会 等	502,121千円	総務課、管理課、義務教育課、高校教育課、特別支援教育課
	(3)	豊かな人間性の育成	体験的な活動の充実	青少年自立・再学習支援(G-SKY Plan、学びを通じたステップアップ支援促進事業)、青少年自然体験等事業	9,830千円	生涯学習課
			道徳教育・人権教育の推進	道徳教育総合支援事業、人権教育研修・指導、人権教育指導者養成講座、集会所等における人権教育推進 等	6,042千円	義務教育課、高校教育課、生涯学習課
			児童生徒の心のケアシステム推進、自殺の防止、不登校児童生徒等支援	ぐんま高校生オンライン相談、児童生徒の心のケアシステム推進(スクールカウンセラー、自立支援アドバイザー 等)、ぐんまMANABIBAネットワーク構築、教育イノベーション推進体制構築(学びのデータ連携)(再掲)、不登校児童生徒等支援	365,557千円	義務教育課、高校教育課、特別支援教育課、生涯学習課
			いじめの正確な認知に基づく適切な対応 いじめを許さない心を育むための児童生徒による自主的な活動の支援	いじめ問題対策推進(いじめ問題対策連絡協議会、いじめ防止フォーラム 等)、いじめ対策(相談対応)、ICTリテラシー向上PJ、群馬県いじめ問題等対策委員会 等	16,657千円	総務課、総合教育センター、義務教育課、高校教育課
	(4)	健やかな体の育成	学校体育の充実	学校体育指導協力者派遣、ぐんまの子どもの体力向上推進事業、子どもがスポーツに親しむ環境の整備	31,172千円	管理課、健康体育課
			運動部活動の推進と適正な運営	部活動指導員配置促進、高等学校部活動推進エキスパート活用、部活動改革推進(休日部活動の地域移行等) 等	180,587千円	健康体育課・義務教育課
			健康教育・食育の推進	エイズ教育充実・強化、がん教育推進、学校給食ぐんまの日、学校における食育推進	1,121千円	健康体育課
適正な健康管理			児童生徒健康診断	58,420千円	健康体育課	



目標	施策	主要事業	予算額	担当所属	
たくましく生きる力をはぐくむ 自らの可能性を高め、互いに認め合い、共に支え合う	(5) 信頼される学校づくり	教員の指導力向上	教員の指導力向上PJ、教育研修員研修、研修支援隊、学校における職場環境の整備(教職員の多忙化解消に向けた協議会、学校の業務改善・効率化PJ)等	18,979千円	総合教育センター、 学校人事課
		様々な課題への対応力の向上 生徒指導体制の充実	学びと家庭のサポート(スクールソーシャルワーカー、生徒指導担当嘱託員の配置、問題行動等対策会議、携帯インターネット問題講習会等)	54,580千円	義務教育課
			学校非公式サイト等調査・監視	1,280千円	高校教育課
		教職員の健康の保持増進	職員保健管理(定期健康診断、ストレスチェック、メンタルヘルス対策等)	54,939千円	福利課、総合教育センター
		障害のある子への適切な対応等	特別支援学校医療的ケア支援、強度行動障害における共同研究、特別支援教育センター運営等	69,230千円	総合教育センター、 特別支援教育課
		特別支援学校の整備	伊勢崎地域特別支援学校再編整備、特別支援学校スクールバス運行等	988,999千円	管理課、特別支援教育課
		特別支援学校のセンター的機能強化等	小中学校・高等学校等相談支援、交流及び共同学習推進	15,409千円	特別支援教育課
		地域とともにある学校づくり 高校教育改革の推進	高校教育改革推進、沼田・利根地区新高校整備、尾瀬ハートフルホーム・システム運営、学校支援センター運営推進、地域・全国から選ばれる学校づくり	194,298千円	管理課、義務教育課、 高校教育課
	(6) 防災・安全・安心な学びの場づくり 防災・危機対応能力の育成	学校施設の長寿命化・教育環境向上の推進	学校施設長寿命化・教育環境向上推進、県立学校等空調設備整備等	3,761,885千円	管理課
		県立学校施設・設備整備			
		ICT環境の整備と情報セキュリティの確保	県立学校における情報セキュリティ対策(ぐんまスクールネット運営、生徒情報管理システム)	139,934千円	管理課、総合教育センター
		就(修)学、多様な教育機会確保のための支援、外国人児童生徒の教育の充実	外国人児童生徒等教育充実総合対策、県立夜間中学設置準備、就学支援金、奨学のための給付金、特別支援教育就学奨励、県立高校等における日本語指導の体制づくり等	4,960,310千円	管理課、義務教育課、 高校教育課、特別支援教育課
		防災教育の推進	学校安全総合支援	3,708千円	健康体育課
	安全確保と安全教育の充実	地域ぐるみの学校安全体制整備推進、交通安全教育推進、中高生の自転車安全対策	914千円	健康体育課	
	(7) 推し進めよう 家庭・地域の連携・協力の推進	質の高い就学前の教育の推進	幼児教育応援、幼小の円滑な接続の推進、幼児教育・職務研修等	3,513千円	総合教育センター、 義務教育課
		家庭教育支援の推進	家庭教育応援、生涯学習センター運営(家庭教育に関する指導者の養成)等	592千円	生涯学習課、健康体育課
		学校・地域の連携・協力の充実	地域学校協働活動推進事業、地域学校協働活動体制整備推進、【再掲】部活動改革推進(休日部活動の地域移行等)等	81,542千円	義務教育課、生涯学習課、 健康体育課
	(8) 生涯学習社会の構築	多様な課題に対応した学習機会の充実	生涯学習センター運営(ぐんま県民カレッジ等)、国重文指定文書保存整理、教育普及活動(古文書講座等)等	5,594千円	生涯学習課、文書館
		社会教育施設の有効活用	ぐんま天文台運営、ぐんま昆虫の森運営、生涯学習センター施設管理、生涯学習センター少年科学教育推進	325,128千円	生涯学習課
		読書活動の充実と県立図書館の機能強化	読書活動推進、図書館運営(図書資料整備、市町村・学校等支援、資料情報サービス、図書館情報提供システム整備、電子書籍サービス、貴重資料デジタル化等)等	193,880千円	生涯学習課
		地域の学びを支える人材づくり	社会教育委員会運営、社会教育委員研究会、社会教育研修支援	1,123千円	生涯学習課
		青少年教育の推進	青少年会館運営、青少年自然の家運営、【再掲】青少年自立・再学習支援(G-SKY Plan)、学びを通じたステップアップ支援促進事業、青少年自然体験等事業	101,744千円	生涯学習課

(注)

1. 主要事業欄のうち、「令和5年度教育行政の主要施策」に事項名として掲載されている事業を太字で表記しています。
2. 「令和5年度教育行政の主要施策」に掲載されている事項名の一部は、主要事業欄の「等」に含めています。また、予算額欄に計上しています。
3. 担当所属欄には、主に主要事業の予算を取り扱う所属を記載しています。

# 片品小学校



■住所  
〒378-0415 利根郡片品村大字鎌田 3952 番地

■電話  
0278-58-3126

■FAX  
0278-58-3351

■ホームページアドレス  
<http://www.katashina-e.ed.jp/>



R4. 片品小「6年尾瀬学習」

## ■児童数

令和5年5月1日現在

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特学	計
学級数	1	1	1	1	1	1	2	8
男	9	7	7	10	12	11	5	61
女	9	6	8	11	6	15	2	57
計	18	13	15	21	18	26	7	118



## 令和5年度 片品村立片品小学校 学校経営方針

### 1 学校の教育目標と重点

- 〔基本目標〕 地域を愛し、たくましく未来を切りひらく力をもつ児童の育成
- 〔具体目標〕
- 「か」しこく 未来を切りひらく学力をもった子（学力）
  - 「た」くましく 生活習慣に支えられたたくましさをもった子（体力）
  - 「し」んせつ 優しい心、広い心、強い心をもった子（心力）
  - 「な」かよく 他の人と協働する力をもった子（仲間力）

### 2 学校経営の方針

〈 地域とともに「か・た・し・な」の力を身に付けた子を育てる 〉

#### 〔目指す学校像〕

- 児童が「できた・分かった・楽しい」を体感できる学校
- 保護者・地域が児童の健やかなる成長を実感できる学校
- 教職員がよさを発揮し、組織の高まりを実感できる学校

## 〔目指す教職員像〕

- 優しさ、温かさ、厳しさをもって指導し、児童の個性や能力を伸ばす教職員
- 夢と情熱をもち、常に自分の教育力の向上を目指し挑戦する教職員
- 規範意識・人権意識を高め、児童や保護者、地域から信頼される教職員

## 〔今年度の経営の重点〕

### （１）確かな学力の育成（学力）

- ・「学力向上計画」に基づいた組織的・計画的な学力向上と「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に向けたICTの有効活用の促進
- ・教員の専門性の高さや得意分野をいかした教科担任制の効果的な運用と多面的な児童理解の充実
- ・児童一人一人の実態に即した組織的な支援のための情報共有や通級指導教室の充実

### （２）豊かな人間性の育成（心力）・（仲間力）

- ・全教職員と児童によるいじめのない人間関係づくり
- ・自己肯定感・自己有用感の醸成に向けた意図的な場の設定と指導
- ・「あいさつ、返事、感謝の言葉が進んで言える子」の育成

### （３）健やかな体の育成（体力）

- ・基本的な生活習慣を身に付け、たくましい体と心の育成
- ・学校保健委員会による児童が主体となる健康の保持増進への取組
- ・「体力向上プラン」に基づいた、主体的に運動に取り組める時間や場などの環境整備

### （４）安心・安全な学校

- ・児童・保護者の心に寄り添った心穏やかに学べる環境づくり
- ・様々な状況を想定した危機管理体制の充実と「自分の身は自分で守る」意識の育成
- ・施設・設備の定期点検を基にした安全確保のための迅速な対応

### （５）家庭や地域社会との連携・協働

- ・保護者との意図的・積極的・計画的な連携の推進
- ・学校からの積極的な情報発信による信頼される学校づくりへの取組
- ・地域協力者・機関との連携・協働による地域学習（総合的な学習の時間）、クラブ活動の充実

### （６）全教職員の経営参画と職能成長

- ・教職員の専門性をいかした分掌運営の充実

- ・育成指針に合わせた的確な目標設定と積極的な研修への参加
- ・教育公務員としての高い倫理観と服務規律意識の向上

### 3 片品村教育委員会の重点施策と自校での取り組み (●は重点目標 ・は具体的な方策)

#### (1) 「安心・安全に学べる環境」をつくる

##### ●交通事故防止、火災、地震、不審者対策など、安全教育の徹底を図る。

- ・日常の安全点検を徹底し、施設、設備の定期点検を基にした安全確保のための迅速な対応を行う。
- ・災害時の安全確保及び下校方法の確認、対策として、引渡訓練を実施する。
- ・避難訓練、交通安全教室等を通して、様々な状況を想定した危機管理体制の充実と「自分の身は自分で守る」意識の育成を図る。

#### (2) 「確かな学力」を身に付ける

##### ●本時のねらいを明確にした「わかる授業」を実践し、児童の課題解決能力の向上を図る。

- ・学習のねらいを明確にした指導計画を立案して毎時間の授業を行う。
- ・「はばたく群馬の指導プランⅡ」や「学校教育の指針」「利根沼田の教育」を参考にしながら、主体的、対話的で深い学びを実現するための、課題解決的な学習過程を工夫する。
- ・ICTを活用した学びを実施する。

##### ●児童の特性を考慮した指導を行い、基礎的、基本的事項の定着を図る。

- ・「学力向上全体計画」に基づき、全職員で計画的に、継続して学力向上に取り組む。
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に向けたICTの有効活用を行う。

#### (3) 「豊かな心」を育てる

##### ●「あいさつ、返事、感謝の言葉が進んで言える子」の育成を図る。

- ・本年度の生徒指導目標である「元気なあいさつ、返事のできる子」を全学級に掲示し、具体的に指導する。
- ・よい例を提示し、あいさつ、返事の意識づけを徹底していく。
- ・毎月行う「にこにこアンケート」においても評価をして、その結果から、よりよい指導を工夫していく。

##### ●全職員と児童によるいじめのない人間関係づくりに取り組む。

- ・「片品小いじめ防止基本方針」に基づいた取り組みを行うとともに、児童会代表委員会や各委員会を中心に、児童主体のいじめ防止活動に取り組む。
- ・人権教育強化月間といじめ防止強化月間を関連づける。
- ・日頃の子どもの言動をよく観察することで、いじめの早期発見、早期対応に努め、いじめが疑われた場合は生徒指導委員会を中心にすみやかに対応する。
- ・自己肯定感、自己有用感の醸成に向けた意図的な場の設定と指導を行う。

#### (4) 「健やかな体」をつくる

- 児童が十分な睡眠時間を確保できるように支援する。
  - ・ 「早寝、早起き、朝ごはん＋排便」の指導を徹底する。
  - ・ 元気アップウィークを活用し、家庭の協力を得て生活習慣等について考えることを通して、健康の保持増進を図る意識を高める。
- 運動に取り組めるよう、場の環境を整える。
  - ・ 「体力向上プラン」に基づいて、学校生活や授業の中で、児童自らが進んで活動できるような運動を計画的、意図的に取り入れ指導をしていく。

■教職員

No.	職名	氏名	分掌
1	校長	小林 菊江	経営 管理
2	教頭	林 誉隆	管理 庶務 P T A スクールバス担当
3	教諭	小林 康子	教務 社会 キャリア教育
4	教諭	林 秀多	教科担当 外国語 研修
5	教諭	内田 共平	4年1組担任 情報 総合 緑の少年団
6	教諭	有坂 萌	3年1組担任 体育
7	教諭	下田 崇人	6年1組担任 生徒指導 理科 児童会 交歓会
8	教諭	森田 実咲	通級指導教室担任 道徳 学力向上C o 学校文集
9	教諭	清水 芽衣	特別支援学級担任 特別支援教育C o 算数 人権福祉
10	教諭	船津 翔吾	2年1組担任 清掃 環境教育 生活
11	教諭	宇根 帆南	5年1組担任 交歓会 音楽 安全 遺失物
12	教諭	尾高 悠介	1年1組担任 国語 図書館
13	事務主事	登坂 萌	庶務 会計 学校予算
14	養護教諭	小林 舞彩	保健指導 給食 教育相談 健康 食育
15	栄養士	林 清子	給食指導（給食センター勤務）
16	教諭	小林 由紀枝	特別支援学級担任 保健主事 地域連携 クラブ 特活
17	スクールカウンセラー	松島 一利	教育相談
18	マイタウンティーチャー	星野 正	図工
19	マイタウンティーチャー	星野 千寿子	家庭科 通学部会
20	特別支援員	田中 智恵子	特支学級及び普通学級の児童支援
21	公 仕	入澤 晴海	庶務

# 片品中学校



## ■住所

〒378-0415 片品村大字鎌田 4480 番地

## ■電話

0278-58-2019

## ■FAX

0278-58-2079

## ■ホームページアドレス

<http://www.katashina-j.ed.jp/>



令和4年度 修学旅行（北陸方面）

## ■生徒数

令和5年5月1日現在

学年	1年	2年	3年	特学	計
学級数	1	1	1	2	5
男	6	17	12	2	37
女	15	14	12	1	42
計	21	31	25	3	79



## 令和5年度 片品村立片品中学校 学校経営方針

### 1. 学校の教育目標

- (1) 教育目標 「豊かな人間性、生きた学力、強い身体」を磨く生徒
- (2) 目指す学校像 「一人一人が認め合い、輝き合い、さわやかで活力に満ちた学校」
- (3) 目指す生徒像 豊かな人間性、生きた学力、強い身体を磨くために

☆「昨日の自分を超越しようとする生徒」

☆「主体的に気づき、考え、行動する生徒」

### 2. 学校経営の方針

- (1) 自分自慢、片中自慢、片品自慢のできる生徒の育成

- ・学校経営スローガンとして掲げ、「広い視野をもち、片品の未来を創る人材の育成」を目指す。

(2) 生徒、保護者との信頼関係を築き、良好な人間関係を基盤とした学校づくりの推進

- ・生徒の心、保護者の気持ち、教職員の思いに寄り添える教師集団を目指す。

(3) 「主体的に気づき、考え、行動する生徒」の育成に向けた環境整備

- ・信頼関係を基盤に相手を信じ、支え合える集団づくりを目指す。
- ・生徒の生育歴や発達の特性、保護者の思いなど、目の前の現象の背景にあるものに心を向ける意識を徹底する。
- ・「こんな学校にしたい」という生徒や職員の思いが実現できるよう、意図的に環境を整備する。

### 3. 片品村教育委員会の重点施策と自校での取り組み (○は重点目標 ・は具体的な方策)

(1) 安心・安全に学べる環境をつくる

○施設・設備の安全管理や危機管理を徹底する。

- ・毎月1回、校舎内外を安全点検し、危険防止に努めるとともに気づいた箇所は、関係機関との連携を基に素早い修理改修に努める。
- ・定期訓練等を通して、緊急事案発生時の全職員の分担及び対応について確認し、危機管理マニュアルに基づく対応の共通理解を図る。

○交通事故や不審者への対策を十分にとる。

- ・学級活動の時間や交通安全教室、不審者対応避難訓練の機会を通じて、交通ルールの遵守や自ら危険を予測、回避するための判断力、行動力を育成する指導を継続する。

(2) 「確かな学力」を身に付ける

○生徒一人一人に確かな学力を身に付けさせるための授業改善に努める。

- ・単元の課題を明確にするとともに、ICTを効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びを往還する単元構成の在り方を共通実践することで、従来の授業力とICT活用指導力の融合を図る。
- ・生徒一人一人の実態に合わせた指導や支援をするために、学習のつまづきを授業の振り返りや複数の教師による見取りからの的確に把握し、教育的ニーズに応じた指導を行う。
- ・教員相互の授業参観を通して研鑽を深め、指導力の向上に努める。

○自主的な学習習慣を身に付けさせる。

- ・スタディサプリで個に応じた問題練習に取り組ませたり、苦手分野の克服のため、スタディログを活用したきめ細かな指導を行ったりするなど、学力向上委員会が中核となり、生徒が主体的に学ぶための学習環境の整備や効果的な個別指導（補充学習）の計画・実施・評価を行う。
- ・探究的な学びにおいて情報活用能力を高めるために、1人1台端末の環境を十分生かし、家庭において視聴する課題動画をもとに反転学習を実施したり、学習課題に応じてグループで調査したりするなど、「家庭と学校の学びをつなぐ授業づくり」を推進する。



### (3) 「豊かな心」を育てる

#### ○いじめのない温かい人間関係を育てる。

- ・特別活動を中心に縦割りの団活動や話し合い活動を行い、生徒への声かけ、賞賛など、個と集団への働きかけにより、個性の発見とよさや可能性の伸長、人間関係調整力やコミュニケーション力などの向上を図る。
- ・いじめの未然防止の基盤となる学級経営を一層充実させるとともに、「いじめ防止教育、SOSの出し方に関する教育、生命の安全教育」を、生徒の発達段階に応じて行う。
- ・QUTテストや生活アンケートの実施、分析を基にした指導の充実に努め、生徒の気持ちに寄り添った教育相談を積極的に行う。
- ・問題行動や不登校などが発生した場合には、SC、SSWをはじめ関係機関と連携して、対応策と役割分担を決め、迅速かつ組織的に生徒一人一人に最適な指導・援助を行う。
- ・「考え議論する道徳」の授業づくりや評価の在り方など、学年グループを中心に研修を進め、道徳教育の充実を図る。

#### ○時と場に応じた適切な言動を身に付けさせる。

- ・生徒が自分事として「学校生活の約束」の意味を理解し、自主的に「学校生活の約束」を守るようになるために、生徒会や保護者会、学校運営協議会などの場において確認したり議論したりすることを通して、絶えず見直しを図る。

### (4) 「健やかな体」をつくる

#### ○基本的な生活習慣を身に付け、健康の保持・増進に努める気持ちや態度を育てる。

- ・規則的な生活習慣づくりや食に関する教育を計画的・横断的に推進するために、学校保健委員会と保健学習、家庭科授業などとの関連を図り、生涯につながる保健教育の充実に努める。
- ・SNSやゲームなどの使い方について、問題点を考えさせ、よりよい関わり方について、集団決定したり、自己決定したりする場面を設定する。

#### ○体育の時間はもとより、日常生活の中で運動に親しめるようにする。

- ・新体力テストを計画的に実施し、データを分析・蓄積することにより、生徒に各自の体力の現状を客観的に認識させるとともに、日常生活においても、自己の能力に応じて目標を立て、継続的に体力づくりに取り組めるよう指導する。

### (5) 「ふるさと片品を愛する心」を育てる、「人のつながりを大切にしたい学びあい」を進める

#### ○地域との連携による、「片品を知る活動」を推進する。

- ・総合的な学習の時間を中心に、「片品学」の実践を通して、地域の人々との関わりの中で、地域への貢献の仕方を学んだり、地域の一員としての自覚を高めたりしながら、地域活動に進んで参画しようとする生徒を育てる。
- ・児童生徒が円滑に校種間の移行ができるように、教育研究会などの取組を通して、学びの連続性を踏まえた学習指導や一貫した生徒指導など、片品小学校及び尾瀬高校、利根中学校との交流や連携を組織的・計画的に行う。
- ・学年保護者会や学校運営協議会において、保護者・地域の方に対して、学校のキャリア教育推進の方針や計画などを説明したり、意見を交換したりするなど、保護者や地域とともにキャリア教育を推進する。

■教職員

No.	職 名	氏 名	分 掌
1	校 長	星野 文隆	経営 管理
2	教 頭	吉野 康弘	企画運営 P T A 書記 同窓会書記
3	教 諭	須田 秀昭	教務主任 3 学年主任 進路指導主事
4	教 諭	友松 真樹	3 年 1 組担任 学力向上 C o 情報教育主任
5	教 諭	坂本 貴洋	2 学年主任 学社連携主任 中高一貫教育主任
6	教 諭	石井 優	1 学年主任 3 組担任 校内研修主任
7	教 諭	関上 さくら	4 組担任 特支教育 C o 保健主事
8	教 諭	戸部 尚樹	2 年 1 組担任 生徒指導主事 道德教育推進教師
9	教 諭	小野 貴大	1 年 1 組担任 安全教育主任
10	教 諭	都筑 舞香	1 年副担任 人権教育主任
11	養 護 教 諭	金子 芽生	保健養護 給食主任 教育相談主任
12	補 佐 事 務 長	星野 郁史	経理全般 庶務主任 同窓会会計
13	小中兼務 (片品小)	内田 共平	技術科担当
14	非 常 勤 講 師	金子 友美	美術科担当
15	非 常 勤 講 師	萩原 裕子	家庭科担当
16	スクールカウンセラー	松島 一利	教育相談
17	マイタウンティーチャー	星野 佐祐	2 年副担任
18	特 別 支 援 員	星野 愛美	生徒支援
19	A L T	Michael Spibey	英語指導
20	公 仕	須藤 松子	給食 営繕 環境美化

# 令和5年度「放課後子ども教室推進事業」「地域学校協働活動推進事業」実施計画

## 1 目的

- ・子どもの安全な居場所づくりの充実を図る
- ・豊かな体験活動の充実を図る
- ・地域と連携した学校づくりを推進する

## 2 内容

片品小学校に「地域学校協働活動支援員」を配置し、地域の方々の参画を得ながら、次の2つのことを行う。

### (1) 【かたしな子ども学校、夏休み教室】（放課後子ども教室事業）

放課後児童クラブとの一体型で実施（「新・放課後子ども総合プラン」）し、放課後や長期休業中に小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得ながら、スポーツや文化活動、地域住民との交流活動等を行うことによって、子どもたちの安心、安全な活動拠点（居場所）をつくる。

### (2) 【片品地域学校協働活動】

学校支援組織やボランティア（保護者や地域住民、各種団体等）と学校とを円滑および計画的につなぎ、地域と学校が相互にパートナーとして連携、協働しながら、地域全体で子どもたちの学びや成長をサポートできるようにする。

## 3 「地域学校協働活動支援員」の役割

### (1) 【かたしな子ども学校、夏休み教室】における役割

- ・平日の放課後における子どもたちの安全、安心な活動場所を確保し、様々な体験、交流活動を見守りながら支援、指導を行う。
- ・夏季休業中における子どもたちの各種活動や生活、学習について支援、指導する。
- ・活動中の子どもたちの安全管理を行う。（「安全管理マニュアル」参照）
- ・活動の実施に当たっては、放課後児童クラブと一体的に実施し、放課後児童クラブの児童も含めた全ての子どもたちの参加促進が図られるように努める。
- ・子どもの活動状況について学校の教職員と情報共有するなどして、学校の教育活動と連携、協働した仕組みとなるよう努める。
- ・学校関係者や保護者、地域のボランティア等の協力を得て、様々な体験活動や交流活動を立案、実施する。また、ボランティアとの連絡、調整、活動依頼等をする。
- ・活動に取り組む関係者間で目的を共有し、コミュニケーションの充実を図りながら子どもの教育活動を支援していく。

### (2) 【片品地域学校協働本部】における役割

- ・学校のニーズに応じて、学校支援組織や各団体等と連絡、調整をしたり新たなボランティアを募集したりするなどして学校支援活動を推進する。また、「支援」から「連携・協働」の活動へと発展させるよう努める。
- ・小学校における地域と学校が連携、協働して取り組んだ活動等の広報を行う。
- ・教職員の補助として子どもたちの活動を支援したり、教職員の教材整備などを支援したりするなどして、地域と学校の連携・協働のもと「学校における働き方改革」に取り組む。（児童の下校時のスクールバス乗車支援、図書室支援等）

#### 4 「地域学校協働活動支援員」の勤務

- (1) 勤務時間 ①【片品地域学校協働活動】及び【かたしな子ども学校】  
令和5年4月1日～令和6年3月31日の登校日を基本とする  
月曜～金曜日の13:00～17:00（4時間）
- ②【夏休み教室】  
夏季休業中の10日間程度（7時間半）  
8:30～16:00
- ※時間は勤務時間内であれば空いている時間からの勤務も可とする
- (2) 勤務場所 片品小学校（協働活動支援室、体育館、校庭等）、尾瀬じどうかん
- (3) 勤務内容 前項の「地域学校協働活動推進員」の役割による

#### 5 その他

- ・子どもたちの健康や安全を最優先する。事故等の場合には、教職員等の協力を得て、応急処置や医療機関への搬送、保護者への連絡等、素早く的確な対応をするようにする。
- ・子どもたちの放課後の過ごし方の実情にあわせ、学校職員（管理職、教務主任、学社連携担当職員等）と十分に相談し、活動計画を立てる。
- ・かたしな子ども学校作品として、片品村総合産業文化展へ作品を出品する。
- ・片品村スポーツ推進委員や文化協会会員の協力の下、連携事業への指導を依頼する。
- ・地域学校協働活動に関する情報交換や子どもへの支援に関する資質向上を図るため、活動に関わる支援員等は、各種研修会へ積極的に参加するようにする。
- ・かたしな子ども学校における活動は、学校施設を利用し教職員の協力も得て実施することもあるが、子どもたちの活動は学校の管理下ではないととらえ、万が一のことに備えて傷害保険（スポーツ安全保険）に加入する。【全児童：村費、推進員：国庫補助】

#### 6 支援員名

1	星野 洋子	かたしな子ども学校支援員
2	星野 とみ	かたしな子ども学校支援員
3	高橋 順子	かたしな子ども学校支援員
4	星野 美智子	かたしな子ども学校支援員
5	若林 京子	かたしな子ども学校支援員
6	星野 裕美	かたしな子ども学校支援員
7	須藤 貴子	かたしな子ども学校支援員
8	星野 真須美	かたしな子ども学校支援員
9	星野 なな子	かたしな子ども学校支援員
10	笠原 絵莉奈	かたしな子ども学校支援員

#### 7 今年度にも本事業で重点的に取り組む課題

- ・教職員が対応しなければならない業務と教職員以外でも対応が可能なものを明確にし、教職員の業務負担を軽減する。
- ・子どもたちにとって学校が、居心地がよく、安心・安全な場となるようにする。
- ・子どもたちに体験の機会をより多く提供すると共に、活動プログラム等の参加を通して地域の方との関わりを深める。

### 令和5年度 管内小中学校児童・生徒数表

令和5年5月1日 現在

学 年		1年		2年		3年		4年		5年		6年		合 計		学級数	備考	
学校名	性別	人数	計	人数	計	人数	計	人数	計	人数	計	人数	計	人数	計			
片品小学校	男	11	20	7	13	7	15	11	23	12	19	13	28	61	118	8		
	女	9		6		8		12		7		15		57				
片品中学校	男	7	23	17	31	13	25							37	79	5		
	女	16		14		12								42				
総 計															98	197	13	
															99			

### 令和5年度 管内保育所の様子

令和5年5月1日現在 [単位：人]

	職員	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	入所率
片品保育所	15	80	1	3	20	13	19	15	71	88.8%
計	15	80	1	3	20	13	19	15	71	88.8%

### 就学前幼児数

令和5年5月1日現在 [単位：人]

入学年度	6年度		7年度		8年度		9年度		10年度	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1区	1	3	3	3	4	2	0	2	1	3
2区	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0
3区	0	2	1	0	0	0	2	2	0	0
4区	2	3	0	3	3	2	1	1	0	2
5区	1	1	2	0	2	1	1	0	1	1
6区	0	1	1	1	1	0	1	0	0	0
7区	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
8区	2	0	4	0	1	0	2	3	3	1
計	7	10	11	8	12	5	8	8	5	8
合 計	17		19		17		16		13	

## 令和5年度 片品村学校給食センター 運営方針

### 1. 学校給食の充実

心身の健全な発達と正しい食教育を推進するため、家庭での食生活を基本としながら、学校、家庭、地域が連携協力し、自ら健康管理に積極的に取り組める児童生徒の育成に努める。

#### ○実践目標

- (1)適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- (2)日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、望ましい食習慣を養うこと。
- (3)学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- (4)食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについて理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- (5)食生活が食に関わる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んじる態度を養うこと。
- (6)各地域の優れた伝統的な食文化について理解を深めること。
- (7)食料の生産、流通について正しい理解に導くこと。

### 2. 課題解決に向けた取り組み

- (1)安心・安全に学べる環境づくり  
〔課題〕安全な給食環境の整備  
〔施策〕安心・安全な食材の購入と衛生管理意識の高揚を図る。
- (2)基礎的・基本的な学力の定着  
〔課題〕食の指導と食育の推進  
〔施策〕望ましい食習慣を身に付けさせ、給食が「生きた教材」となるよう努める。
- (3)生きる力を育成する豊かな体験  
〔課題〕地場産物の活用、作物づくり体験  
〔施策〕地元の食材を使ったメニューの検討や「児童の作物を育てること」、「家庭でのお弁当づくり」をとおして食への関心を高めるよう工夫する。

### 3. 給食実施状況

- (1)給食数（令和5年度）

施設	施設数	学級数	児童・生徒数	教職員数	合計
小学校	1施設	8組	118人	18人	136人
中学校	1施設	5組	79人	16人	95人
給食センター	1施設	—	—	9人	9人
合計	3施設	13組	197人	45人	242人

- (2)給食日数

年間202日 米飯(月・水・金)パン又は麺類(火・木)

- (3)調理員分担

調理員5名が安全係、検収係、環境係、調味係を役割分担で担当し調理に従事

- (4)業 務

◎朝礼、職員の健康観察、賄い物資検収受け入れ

◎11時25分各学校へ給食配送

◎13時30分食器類回収し洗浄、保管、消毒、調理機器及び厨房の清掃後廃棄物をクリーンセンターへ搬入

◎残食等を調査してその日の反省と翌日の打合せ

(5)組織会議

ア. 運営委員会

運営委員会は教育委員会が必要に応じて15名以内の委員を委嘱する。(議長、議員、学識経験者、学校長、PTA会長で構成)会議は必要に応じて開催

イ. 給食実施委員会

各学校の給食担当職員、給食センター職員等により毎月の上旬に開催(献立、学校からの要望、問題点の話し合い等)

ウ. 給食費

単位：円

年度	小学生			中学生			備考
	月額	年額	1食当り	月額	年額	1食当り	
S59	3,100	37,200	191	3,600	43,200	222	
H3	3,500	42,000	215	4,000	48,000	246	消費税3%導入
H9	3,800	45,600	234	4,300	51,600	265	//3%から5%へ
H26	4,000	48,000	246	4,500	54,000	277	//5%から8%へ
R5	無償			無償			子育て世代保護者の負担軽減のため

4. 施設の状況

- (1) 名称 片品村学校給食センター
- (2) 所在地 片品村大字鎌田4022番地2
- (3) 面積 敷地：1,280.60㎡ 建物：一階447.50㎡ 二階114.00㎡ 合計561.50㎡
- (4) 建物構造 鉄骨造(一部二階建)
- (5) 竣工年月日 昭和58年12月10日
- (6) 総事業費 169,670千円
- (7) 給食開始年月 昭和59年4月1日
- (8) 施設能力 1日1,200食
- (9) 厨房システム ドライ方式(床に水を流さない方式)

5. 片品村学校給食センター運営委員会

NO	役職等	氏名	備考	NO	役職等	氏名	備考
1	運営委員長	萩原 正信		5	運営委員	小林 菊江	
2	副委員長	星野真須美		6	運営委員	星野 文隆	
3	学識経験者	金子 賢司		7	運営委員	梅澤 庸江	
4	運営委員	北澤 佳子					

6. 片品村学校給食センター職員

NO	役職等	氏名	備考	NO	役職等	氏名	備考
1	所長	星野 孝行		6	調理員	鏑木 恵	
2	副所長	萩原 睦久		7	調理員	神寄 理恵	
3	係長	三浦由妃恵		8	調理員	桑原 裕美	
4	栄養士	林 清子		9	調理員	萩原 美有	
5	調理員	倉田 晴美		10	運転手	萩原 道雄	

# 令和5年度 事業計画

片品村体育協会

月 日	事業名	会場	摘要
4月13日(木)	体育協会定期理事会(総会)	片品村役場2階研修室	
5月8日(月) ~	社会人野球春季大会	片品中学校校庭	
5月9日(火)	片品村長杯グラウンドゴルフ大会	尾瀬大橋公園	
5月12日(金)	令和5年度区対抗競技方針検討会議(仮)	片品村文化センター会議室	
5月17日(水)	片品村体協長杯グラウンドゴルフ大会	武尊アルモンテ	
5月24日(水)	片品村議長杯グラウンドゴルフ大会	越本ふれあい広場	
5月28日(日)	地区交流ソフトボール大会	片品中学校校庭	
6月7日(水)	片品村グラウンドゴルフペア大会	越本ふれあい広場	
7月7日(金) ~	社会人夏季リーグ戦野球大会	片品中学校校庭	ナイター
7月25日(火) ~	町内対抗野球代表決定戦	片品中学校校庭	ナイター
8月23日(水)	尾瀬戸倉杯グラウンドゴルフ大会	尾瀬戸倉高原ホテル	
8月30日(水)	尾瀬岩鞍杯グラウンドゴルフ大会	尾瀬岩鞍GGコース	
9月上旬	尾瀬吹割杯親善野球大会	片品中学校校庭 沼田市利根町	
9月20日(水)	第18回片品村区対抗グラウンドゴルフ大会	越本ふれあい広場	
10月4日(水)	片品村グラウンドゴルフ交流大会	尾瀬戸倉総合グラウンド	
8月中旬	町内対抗野球利根沼田予選	沼田市 みなかみ町月夜野	
9月中旬	第11回村長杯ターゲットゴルフ大会	東小川TBG場	
9月~10月	県民体育大会利根郡予選会	郡内各町村等	各競技部
10月1日(日)	第2回片品村ウォークラリー大会	片品村鎌田地内	
10月中旬	第80回村民ゴルフ大会 兼第27回区対抗ゴルフ大会		
10月下旬	第75回家庭婦人バレーボール大会	片品村東小川体育館	
11月上旬	県民体育大会	前橋市ほか	
11月23日(木)	片品村ミニバレーボール大会	片品村東小川体育館	
3月中旬	第54回片品選手権スキー大会	村内スキー場	
3月中旬	第24回片品射撃クラブ大会	群馬県クレ射撃場	



## 令和5年度 事業計画（教室・講習会等）

片品村体育協会

月 日	事 業 名	会 場	主 催 団 体
4月～3月	テニス教室	片品村トレーニングハウス	テニス部
6月～10月	ソフトテニス教室	片品中学校テニスコート	ソフトテニス部
8月下旬～9月上旬	上武大学陸上部ランニング教室	片品小学校校庭	陸上クラブ
年6回程度	射撃講習会	ぐんまジャイアントほか	射撃クラブ
1月～3月	村内小学校低学年対象スキー教室	岩鞍・かたしな高原	スキークラブ
7月・10月	バレーボール審判講習会	片品村東小川体育館	バレーボール協会
毎週火・金曜日	少年サッカー教室	片品村民運動場 片品村トレーニングハウス	サッカー部
毎週水曜日	ランニングクラブ	片品小学校校庭 片品村トレーニングハウス他	陸上クラブ

## 施 設 ・ 団 体 等

### ■社会教育・体育施設

NO	施 設 名	所 在 地	設 備 等
1	片品村民運動場（グラウンド）	須賀川284	グラウンド夜間照明あり
2	片品村トレーニングハウス （床なし体育館）	鎌田4012-2	ゲートボール1面 又はテニスコート1面
3	片品村ジャンプ台	土出2609 ホワイトワールド尾瀬岩鞍地内	7.5m級ジャンプ台
4	片品村スモールヒルジャンプ台	越本 かたしなスキー場内	20m級ジャンプ台
5	青少年広場	村内各地	遊具等
6	片品村文化センター	鎌田3982	ホール802席 会議室
7	片品村東小川体育館	東小川3017	アリーナ サブアリーナ
8	片品村弓道場	鎌田4476-12	夜間照明あり
9	片品村武尊根体育館	摺淵307	アリーナ
10	片品村土出グラウンド 片品村土出体育館	土出1957	グラウンド夜間照明あり
11	片品村花咲グラウンド	花咲2118	夜間照明あり

### ■社会教育関係団体

NO	団 体 等 名 称	代表者氏名	構成人員
1	片品村文化協会	戸丸 俊一	全世帯
2	片品村体育協会	星野 博	全世帯
3	片品村女性会	角田 京子	25人
4	片品村子ども会育成会連絡協議会	三浦 幸治	48人
5	片品村小中学校PTA連絡協議会	星野真須美	13人
6	片品村青少年育成推進員連絡協議会	須藤 育美	15人
7	片品村青少年健全育成会議（中央及び地区）	萩原 明富	51人
8	片品村スポーツ少年団	星野 博	30人
9	片品村新生活運動推進協議会	萩原 正信	全世帯

### ■学習グループ

NO	名 称	代表者氏名	構成人員
1	文芸部（俳句作家協会含）	渡辺 和昭	14
2	文化財部	戸丸 廣安	7
3	芸能部	星野 智子	84
4	将棋部（現在休部）	—	—
5	絵画部	千明 良子	9
6	切り絵部	木内いよ子	12
7	写真部（現在休部）	—	—
8	民芸部（現在休部）	—	—
9	華道部	星野 壽子	10
10	書道部	須藤智恵子	12
11	菊花部	林 誠一	11
12	尾瀬太鼓愛好会	米山 武雄	25

## 指定文化財一覧（国・県）

### 国 天然記念物

No.	指定年月日	指定文化財名	所在地	管 理 者		所 有 者	
				指定当初	現 在	指定当初	現 在
1	S31. 8. 9	お <sup>ぎ</sup> 尾瀬	戸倉	群馬県	同		
	S35. 6. 1	(特別天然記念物指定)					

### 国 重要無形民俗文化財

No.	指定年月日	指定文化財名	所在地	管 理 者		所 有 者	
				指定当初	現 在	指定当初	現 在
1	H13. 2. 28	かたしな <sup>きるおまつり</sup> 片品の猿追い祭	花咲2021	猿追い祭保存会	同		

### 国 重要文化財

No.	指定年月日	指定文化財名	所在地	管 理 者		所 有 者	
				指定当初	現 在	指定当初	現 在
1	H15. 12. 25	まるぬま <sup>えんてい</sup> 沼堰堤	東小川根子	東京電力㈱	同	東京電力㈱	同

### 県 重要文化財

No.	指定年月日	指定文化財名	所在地	管 理 者		所 有 者	
				指定当初	現 在	指定当初	現 在
1	S48. 12. 24	もくぞう <sup>ひがしおがわおおみどう</sup> 木造東小川大御堂の観音像	東小川238	上小川組長	同	上小川組長	同

### 県 天然記念物

No.	指定年月日	指定文化財名	所在地	管 理 者		所 有 者	
				指定当初	現 在	指定当初	現 在
1	S33. 3. 22	ほたか <sup>ぼくじょう</sup> 武尊牧場のレク <sup>ツツ</sup> 群落	花咲2197	片品村	同		
2	H2. 9. 25	しばぎわの <sup>おお</sup> 大イチイ	花咲1182	佐藤郁夫	佐藤弘之	佐藤郁夫	佐藤弘之
3	H2. 9. 25	しばぎわのシナノキ	花咲1242	佐藤郁夫	同	佐藤郁夫	同
4	H2. 9. 25	するぶら <sup>摺淵</sup> のヒメコマツ	摺淵177	飯塚 寿	同	飯塚 寿	同
5	H2. 9. 25	かさい <sup>ざわ</sup> 金井沢のアカマツ	土出1120-1	後藤正一	後藤眞平	後藤正一	後藤眞平
6	H23. 9. 20	はりやま <sup>てんのう</sup> 針山の天王ザクラ	針山	千明長治	千明博治	千明長治	千明俊和

## 指定文化財一覧（村）

### 村 重要文化財

No.	指定年月日	指定文化財名	所在地	管 理 者		所 有 者	
				指定当初	現 在	指定当初	現 在
1	S50. 12. 17	うわでつぐら 上而郷蔵	越本甲1242-1	上而組長	同	上而組	同
2	S51. 7. 16	ほたかじんしゃほんでん 武尊神社本殿	花咲2021	武尊神社氏子	同	武尊神社	同
3	S61. 10. 1	けんな かくまいさうびょうぶ 賢和六枚双屏風 2枚	鎌田3967-3	片品村長	同	片品村	同
4	S61. 10. 1	のぼつとじゅういちめんかんのんぞう 登戸十一面観音像	花咲1334	登戸組長	同	登戸組	同
5	H1. 2. 22	おんしょうじ らんま 音昌寺の欄間	越本1267	坂西恒喜	坂西徹之	坂西恒喜	坂西徹之
6	H1. 2. 22	りゅうそういん しゅみだん 龍滄院の須弥壇	東小川2900	田川泰龍	田川保雄	田川泰龍	田川保雄
7	H1. 2. 22	だいえんじ かんぜおんぞう 大圓寺の観世音像	土出886	竹内芳昭	同	竹内芳昭	同
8	H1. 2. 22	だいえんじ まび えがく 大圓寺の間引きの絵額	土出886	竹内芳昭	同	竹内芳昭	同
9	H1. 11. 20	ほたかじんしゃ えがく 武尊神社の絵額	土出	新井組長	同	新井組	同
10	H3. 3. 22	はたやつぐら 幡谷郷蔵	幡谷	幡谷組長	同	幡谷組	同
11	H26. 7. 22	ながいゆゆうきんてんしゅうじよじつしゅうどう 永井流養蚕伝習所実習棟	針山4	永井啓之	同	永井啓之	同

### 村 重要文化財（石造物）

No.	指定年月日	指定文化財名	所在地	管理者又は所有者		摘 要
				指定当初	現 在	
1	H9. 5. 21	ほうきよゐんどう 宝篋印塔	御座入	星野明宏	同	1795年建立
2	H9. 5. 21	ばとう かんぜおん 馬頭観世音	御座入	御座入組長	同	1790年建立
3	H9. 5. 21	たんたいどうそじん 単体道祖神	菅沼	星野 圭	同	1730年建立
4	H9. 5. 21	だつえいば 奪衣婆	摺渕	下摺渕大伍長	同	
5	H9. 5. 21	ばとう かんぜおん 馬頭観世音	幡谷	幡谷組長	同	1861年建立
6	H9. 5. 21	ひやくこうしん 百庚申	栗生	栗生組長	同	1860年建立
7	H9. 5. 21	せんがんとうげ じぞうさま 千貫峠の地藏様	栗生	栗生組長	同	
8	H9. 5. 21	おおみどう く ひ 大御堂句碑	上小川	上小川組長	同	1804年建立
9	H9. 5. 21	そうたいどうそじん 双体道祖神	上小川	上小川組長	同	
10	H9. 5. 21	たじゅうとう こうしんごじゅうのとう 多重塔（庚申五重塔）	伊閑町	伊閑町組長	同	1676年建立
11	H9. 5. 21	こうしん とう しょうめんこんごうぞう 庚申塔（青面金剛像）	伊閑町	伊閑町組長	同	1740年建立
12	H9. 5. 21	ひやくばんとう 百番塔	戸倉	戸倉区長	同	1788年建立

### 村 無形文化財

No.	指定年月日	指定文化財名	所在地	管 理 者		所 有 者	
				指定当初	現 在	指定当初	現 在
1	H21. 5. 15	かみはたや きるまつ 上幡谷の申祭り	摺渕	氏子総代	同	氏子総代	同
2	H21. 5. 15	はりやま じゅうにさままつ 針山の十二様祭り	針山	針山組長	同	針山組	同
3	H21. 5. 15	こしもと ほたかまつ 越本の武尊祭り	越本1898	第5区長	同	第5区	同
4	H21. 5. 15	こしもと すわまつ 越本の諏訪祭り	越本964-1	上而組長	同	上而組	同

村 史跡

No.	指定年月日	指定文化財名	所在地	管 理 者		所 有 者	
				指定当初	現 在	指定当初	現 在
1	H2. 2. 20	うおう ひ 禹王の碑	土出	古仲組長	同	古仲組	同
2	H12. 10. 3	しらねさん しゅうへん さんがくしんこう いせき 白根山周辺の山岳信仰遺跡	東小川	第4区長	同	第4区長	同

村 天然記念物

No.	指定年月日	指定文化財名	所在地	管 理 者		所 有 者	
				指定当初	現 在	指定当初	現 在
1	H1. 2. 22	ほしの け 星野家のマメガキ	下平228	星野浅次郎	同	星野浅次郎	同
2	H1. 2. 22	ほしの つか もり 星野塚の森	摺淵	星野伊三夫	同	星野伊三夫	同
3	H1. 2. 22	みやまえ 宮前のサクラ	幡谷281	千明梅治ほか13人	同	千明梅治ほか13人	同
4	H1. 2. 22	かき ガニ沢のチョウセンマツ	幡谷288-3	小林祐次	同	小林祐次	同
5	H1. 2. 22	みうら け ぼち 三浦家墓地のモミ	幡谷	三浦家	同	三浦家	同
6	H1. 2. 22	ながい け 永井家のカヤ	花咲962	永井徳次	神田 隆	永井徳次	神田 隆
7	H1. 2. 22	ながい け 永井家のクロベ	花咲963	永井徳次	神田 隆	永井徳次	神田 隆
8	H1. 2. 22	くまの みや 熊野宮のヒノキ	東小川1593	宮田健治	同	宮田健治	同
9	H1. 2. 22	おおみどう 大御堂のシダレザクラ	東小川238	上小川組長	同	上小川地区	同
10	H1. 2. 22	ほしけ いなりさま 星家稲荷様イチイ	東小川522	星 周一	星 一英	星 周一	星 一英
11	H1. 2. 22	おんじょう 音昌寺のウメ（紅）	越本1267	坂西恒喜	同	坂西恒喜	同
12	H1. 2. 22	おんじょう 音昌寺のコノデガシワ	越本1268	坂西恒喜	同	坂西恒喜	同
13	H1. 2. 22	おおや 大屋のナン	摺淵523	星野政男	星野達哉	星野政男	星野達哉
14	H1. 2. 22	ほたか じんじや 武尊神社のイチョウ	摺淵	摺淵組長	同	摺淵地区	同
15	H1. 2. 22	ほしの け 星野家のイチイ	下平290	星野清吉	星野ヤイ子	星野清吉	星野ヤイ子
16	H3. 3. 22	なかやまけ 高山家のカキノキ	花咲甲1151	高山清作	高山武士	高山清作	高山武士
17	H3. 3. 22	い かんちょう 伊関町のチョウセンマツ	土出1907	萩原正雪	萩原静子	萩原正雪	萩原静子
18	H3. 3. 22	あなざわじゅうにさま 穴沢十二様のカラマツ	東小川	穴沢組長	同	穴沢組長	同
19	H12. 10. 3	ヒカリゴケ	東小川	日本製紙総合開発	同	日本製紙総合開発	同
20	H24. 9. 18	ぼ おおいし あん場の大石	東小川字高平	穴沢組長	同		同
21	H26. 1. 17	にっこうしらねさん 日光白根山のシラネアオイ	東小川	日本製紙総合開発	同	日本製紙総合開発	同
22	H26. 9. 17	はなざくいし 花咲石	花咲字中反1289	第3区長	同	第3区長	同

## 教育委員会及び付属機関等名簿

### ■教育委員会

職名	氏名	備考
教育長	萩原 明富	R5. 4. 1～ R8. 3. 31
教育長職務 代理者	矢内 洋子	R2. 4. 1～ R6. 3. 31
委員	大竹 光一	R3. 4. 1～ R7. 3. 31
委員	星野 幸一	R4. 4. 1～ R8. 3. 31
委員	永井 清香	R5. 4. 1～ R9. 3. 31

### ■教育委員会事務局

職名	氏名	備考
事務局長	星野 孝行	
係長	萩原 一彰	
社会教育主事(派)	岡野 典子	
主査	武藤 秀文	
主査	星野 城二	
主任	入澤 達郎	
主事	梅澤 萌	
主事	大竹 桃花	
会計年度任用職員	笠原まき江	
会計年度任用職員	萩原 美有	

### ■社会教育委員会

任期 R4. 4. 1～R6. 3. 31

職名	氏名	備考
委員長	星野 光三	R3. 6. 1～
副委員長	笠原紀美子	R2. 4. 1～
委員	星野 博	R4. 4. 1～
委員	須藤 育美	R5. 4. 1～
委員	星野 文隆	R5. 4. 1～

### ■スポーツ推進委員

任期 R4. 4. 1～R6. 3. 31

職名	氏名	区	備考
会長	千明 道太	4	H10. 4. 1～
副会長	入澤 茂	5	H18. 4. 1～
副会長	宮田千代子	4	H22. 4. 1～
	入澤真由美	8	H14. 4. 1～
	渡辺 英樹	8	H24. 4. 1～
	笠原 学	5	H24. 4. 1～
	星野 一忠	5	H26. 4. 1～
	渡辺 元	8	H28. 4. 1～
	今井 淳二	8	H28. 4. 1～
	小林 杉子	6	H30. 4. 1～
	永井 幸男	3	H30. 4. 1～
	萩原 誠	6	H30. 4. 1～
	飯塚 寿	2	R2. 4. 1～
	高橋 卓也	1	R2. 4. 1～
	千明美弥子	1	R4. 4. 1～

### ■文化財調査委員

任期 R5. 4. 1～R7. 3. 31

職名	氏名	備考
委員代表	戸丸 廣安	
	戸丸 俊一	
	星野 傳六	
	星野 準一	

## ■文化協会

任期 R5. 4. 1～R7. 3. 31

職名	氏名	備考
会長	戸丸 俊一	
副会長	星野 智子	
副会長	角田とも枝	
監事	須藤智恵子	
監事	星野 泰三	

## ■体育協会

任期 R5. 4. 1～R6. 3. 31

(議長・産業民教常任委員長は R5. 5. 16～)

職名	氏名	備考
会長	星野 博	
副会長	桑原 健二	
副会長	笠原 雅昭	
監事	星野 照子	会計管理者
顧問	梅澤 志洋	片品村長
顧問	萩原 正信	議会議長
顧問	北澤 佳子	産業民教委員長
顧問・監事	矢内 洋子	教育長職務代理者
顧問	萩原 明富	教育長
顧問	荒木 克美	前会長

## ■PTA連絡協議会

任期 R5. 4. 1～R6. 3. 31

職名	氏名	備考
会長	星野真須美	片小PTA 会長
副会長	梅澤 庸江	片中PTA 会長
監事	吉野花奈子	片中PTA 副会長
監事	井田多佳子	片中PTA 副会長
婦人代表	中畑めぐみ	片小PTA 副会長
委員	神寄 理恵	片小PTA 副会長
委員	星野 洋子	片中PTA 副会長

## ■青少年育成推進員連絡協議会

任期 R5. 4. 1～R8. 3. 31

役職	氏名	地区
会長	須藤 育美	8区
副会長	永井 治	3区
副会長	星野 昌也	8区
監事	三浦 幸治	2区
監事	戸丸 正彦	3区
庶務会計	星野 伸樹	1区
	小林 英雄	1区
	星野 成雄	2区
	千明 賢一	4区
	鈴木 雅也	4区
	笠原 高広	5区
	村田 誉	5区
	梅澤 裕樹	6区
	吉野 一也	6区
	萩原 雄次	7区

## ■子ども会育成会連絡協議会 (本部)

任期 R. 5. 4. 1～R6. 3. 31

職名	氏名	備考
会長	三浦 幸治	
副会長	戸丸 卓英	
副会長	木場 雅子	
副会長	星 和文	
監事	萩原 新也	
監事	星野 和彦	
書記	五十嵐寛明	
会計	星野 洋子	

■子ども会育成会（地区）

任期R5. 4. 1～R6. 3. 31

地区	氏名	備考
1区	星野 洋子	1区代表
	橋本 直樹	
	桑原 匠	
	星野 和之	
2区	星野 成雄	2区代表
	桑原 国博	
3区	戸丸 卓英	3区代表
	星野 文昭	
	藤井 広行	
	星野 典子	
	原 紘二郎	
	永井 幸男	
4区	星 和文	4区代表
	星 信弘	
	瀬戸山洋光	
	宮田かおり	
	須藤 芳司	
5区	木場 雅子	5区代表
	笠原 紅燕	
	大竹 幹雄	
	澤 生道	
6区	星野 和彦	6区代表
	梅澤 裕樹	
	星野 千恵	
	吉野 透	
	吉野 良孝	
7区	萩原 新也	7区代表
8区	五十嵐寛明	8区代表
	中畑伊佐央	
	須藤 諭史	
	片柳 圭介	
	小島 恵理	
	五十嵐 隆	

■片品村青少年健全育成地区会議役員

任期R5. 4. 1～R6. 3. 31

職名	氏名	備考
第1区 地区会長	星野 洋子	
第2区 地区会長	星野 成雄	
第3区 地区会長	藤井 広行	
第4区 地区会長	星 和文	
第5区 地区会長	入澤 佑紀	
第6区 地区会長	吉野 一也	
第7区 地区会長	萩原 新也	
第8区 地区会長	五十嵐寛明	

■女性会役員

任期R5. 4. 1～R6. 3. 31

職名	氏名	備考
会長	角田 京子	
副会長	片山ふじ美	
副会長	宮田美代子	



■村長・副村長

職名	氏名
村長	梅澤 志洋
副村長	金子 賢司

■村議会議員

任期 R5. 4. 30～R8. 4. 29 役職 R5. 5. 16 現在

職名	氏名	常任委員会等
議長	萩原 正信	産業民教常任委員
副議長	星野 吉弥	産業民教常任委員
議会運営委員長	千明 勉	総務観光常任委員
議会運営副委員長	星野 栄二	産業民教常任委員
総務観光常任委員長	狩野 孝夫	
総務観光常任副委員長	小林 政彦	
産業民教常任委員長	北澤 佳子	
産業民教常任副委員長	小柳 紀一	
	高山 悦夫	総務観光常任委員
	後藤 眞平	総務観光常任委員
	萩原 和典	総務観光常任委員
	飯塚 美明	産業民教常任委員

令和5年度 片品村一般会計歳出予算額

款	歳出額（千円）	予算における割合（%）
1 議会費	72,670	1.8
2 総務費	994,714	24.5
3 民生費	668,917	16.4
4 衛生費	370,664	9.1
5 労働費	44	0.0
6 農林水産業費	333,437	8.2
7 商工費	219,843	5.4
8 土木費	316,693	7.8
9 消防費	169,012	4.2
10 教育費	372,097	9.1
11 災害復旧費	3	0.0
12 公債費	545,906	13.4
14 予備費	3,000	0.1
合計	4,067,000	100.0

教育費予算の内訳

項	歳出額（千円）	教育費予算における割合（%）
1 教育総務費	132,194	35.5
2 小学校費	60,267	16.2
3 中学校費	51,613	13.9
4 高等学校費	6,045	1.6
5 社会教育費	32,279	8.7
6 保健体育費	23,169	6.2
7 学校給食費	66,530	17.9
合計	372,097	100.0

---

令和5年 8月発行

片品村教育委員会事務局

総務係 編集

〒378-0415

利根郡片品村大字鎌田3982番地

TEL : 0278-58-2144

FAX : 0278-58-4611

---